

都市の将来イメージ



戦略07関連
芸術・文化・スポーツによる
新たな魅力を創出

FUTURE IMAGE

成熟した社会において一層重要な役割を担う芸術・文化の力や、健康だけでなくにぎわいや観光の大きな要素にもなり得るスポーツの力を都市づくりに活用し、東京の魅力を向上します。

**(東京ならではの魅力を楽しめる夜の水辺)**

まちの中に生み出された多様なオープンスペースや、カフェやレストランなどのにぎわい施設が立地する水辺空間には、多くの観光客が訪れ、東京の魅力を体感しています。

ライトアップされたシンボル性の高い建造物等と江戸から続く多彩な文化との競演が、都市の中に新たな魅力を生んでいます。



(多様な文化やスポーツが楽しめる公園)

エリアマネジメント*等により伝統芸能やクラシックコンサートのイベントが連日開催されるなど、公園の多面的な活用が進んでいます。

満開の桜の中でサイクリングやジョギングを楽しむなど、多くの方が思い思いに四季折々の東京の魅力を体感しています。

現状と将来の見込み等

- 東京には芸術・文化に関わる多様な資源が集積していますが、美術館・博物館の来場者数は世界の大都市と比べても多いたとは言えない状況です。ライフスタイルや価値観の多様化が進む成熟社会においてはこれらの資源を最大限活用することが求められています。(図7-1, 2, 3)
- 東京2020大会のレガシーを生かし、健康の維持・増進、地域コミュニティの活性化など、幅広い効果を有するスポーツの力を、少子高齢化や人口減少などの課題解決に活用することが重要です。(図7-4)
- 東京における国際会議の開催件数は増加傾向にあるものの、依然として世界の競合都市には後れをとっています。より質の高い観光・MICEのニーズへの対応として、ICTの活用や東京らしさを感じられる体験型の観光都市づくりが求められています。(図7-5)

図7-1 主要都市の美術館・博物館数

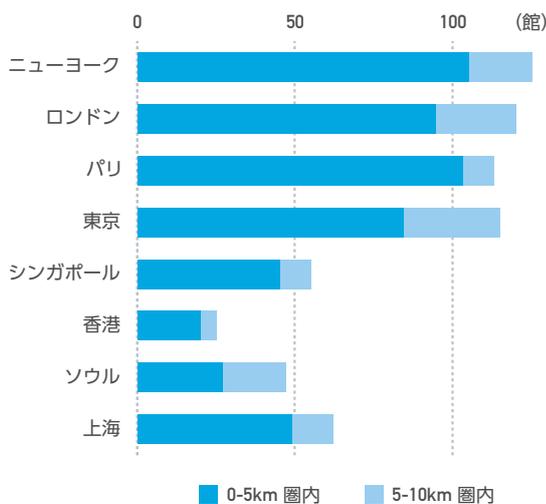
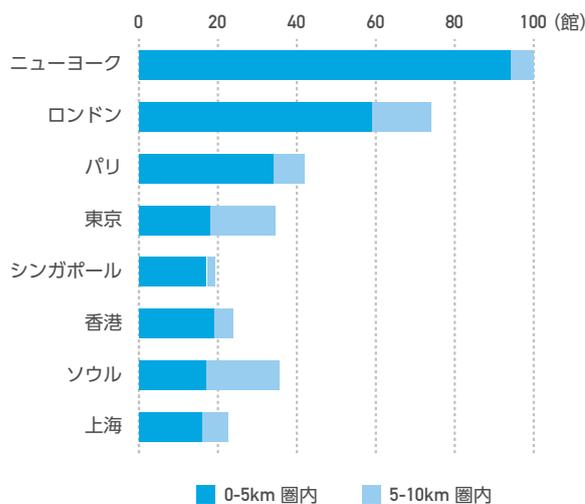


図7-2 主要都市の劇場・コンサートホール数



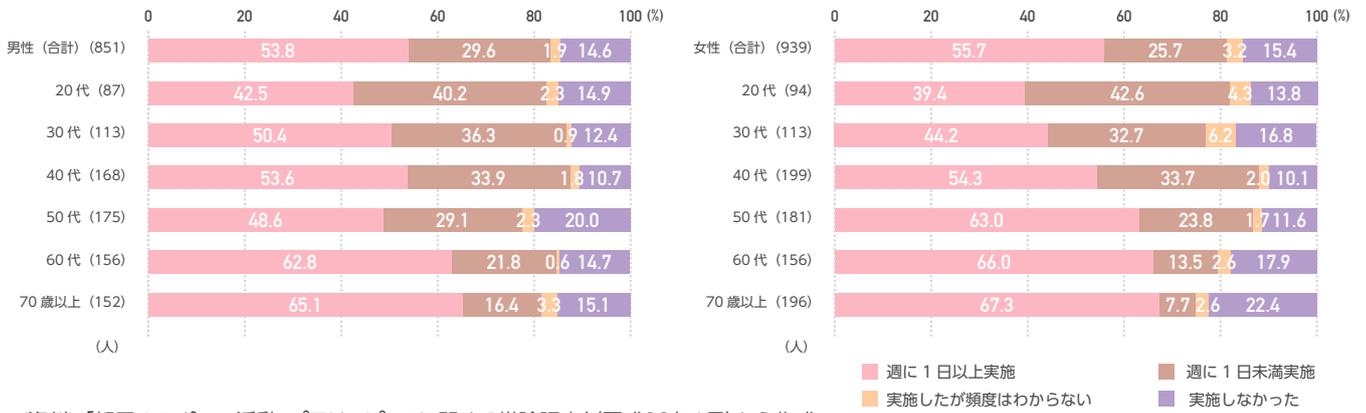
(資料)「新建築 平成27年6月別冊 TOKYO 150 Projects」
(平成27年6月 新建築社)から東京都作成

図7-3 世界の美術館の年間訪問者数(2013年)

| | | | |
|----------------------|--------|--------------------------|--------|
| 1 ルーブル美術館 (仏パリ) | 933 万人 | 8 ナショナルギャラリー (米ワシントン DC) | 409 万人 |
| 2 大英博物館 (英ロンドン) | 670 万人 | 9 ポンピドゥセンター (仏パリ) | 374 万人 |
| 3 メトロポリタン美術館 (米NY市) | 622 万人 | 10 オルセー美術館 (仏パリ) | 350 万人 |
| 4 ナショナルギャラリー (英ロンドン) | 603 万人 | 20 国立新美術館 (東京) | 203 万人 |
| 5 ヴァチカン美術館 (ヴァチカン) | 545 万人 | 37 東京国立博物館 (東京) | 140 万人 |
| 6 テート・モダン (英ロンドン) | 488 万人 | 48 森美術館 (東京) | 122 万人 |
| 7 故宮博物院 (台湾 台北) | 450 万人 | | |

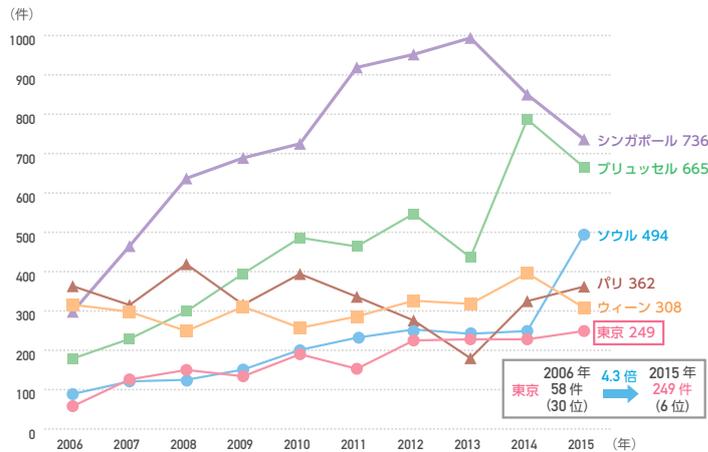
(資料)「The Art Newspaper」(イギリスの美術月刊誌)(平成26年4月)から東京都作成

図7-4 性・年代別スポーツ実施率



(資料)「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査」(平成29年1月)から作成

図7-5 世界各都市における国際会議の開催件数の推移

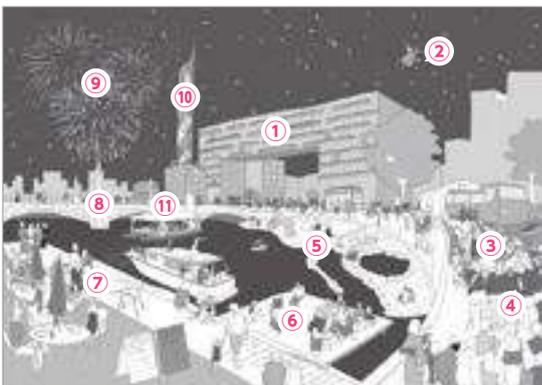


(資料)「国際会議統計」

(日本政府観光局)から東京都作成

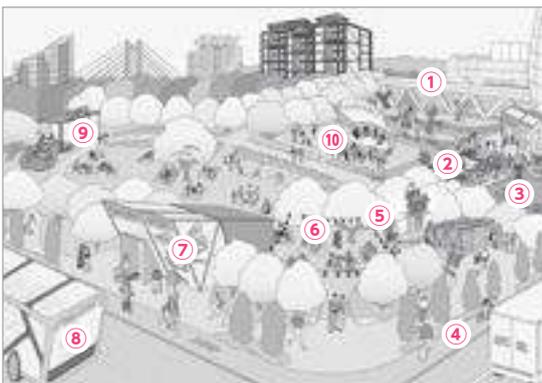
都市の将来イメージの解説

キープラン



解説

- ① デザイン性が高く水辺に顔を向けた建物
- ② 夜景を楽しみながらヘリコプターで移動
- ③ BRTステーションと隣接する自転車シェアリングのサイクルポート
- ④ 外国人もコミュニティの一員となって参加するお祭り
- ⑤ 水辺のライトアップを促進し東京ならではの景観を演出
- ⑥ ダンスステージとなる川床
- ⑦ オープンカフェなどによる水辺空間とまちの一体的な利用
- ⑧ 地域の観光スポットとなっている土木遺産*
- ⑨ 花火や屋形船など江戸時代から続く東京の「宝物」
- ⑩ 都市活動を象徴する建物群にテーマ性を持たせたライトアップ
- ⑪ 花火を眺めながら東京の食を満喫できる屋形船



- ① 公園と一体的な空間にある美術館とパブリックアート
- ② ペットと遊べるドッグラン
- ③ 地域に伝わる伝統行事の実演
- ④ 道路空間のリメイクで生み出された自転車専用レーン
- ⑤ ホログラムで上映される歌舞伎と三味線の競演
- ⑥ 満開の桜の中で楽しむお花見
- ⑦ 公園に近接し使いやすいランニングステーション
- ⑧ 自動運転技術も活用しゆっくり沿道の景観を楽しめるバス
- ⑨ 公園の緑を満喫できるオープンカフェ
- ⑩ 公民が連携したエリアマネジメントによるイベント開催